



ネパール大地震後の 医療状況についての報告会

日時：2015年 6月 11日(木) 18:00～

会場：鹿児島大学病院 C棟8階セミナー室

演者：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
脳神経外科学分野

特任研究員 ポハラ マノズ 先生

教授 有田 和徳 先生

※医師、研修医、学生、職員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。



※ポハラ・マノズ医師:ネパール・カトマンズ出身。

ネパール国立トリバン大学医学部を卒業。

2009年来日(脳神経外科学研究生)。

2010年鹿児島大学大学院医歯学総合研究科博士課程入学(脳神経外科学)。

2014年同大学大学院医歯学総合研究科博士課程修了、医学博士取得。

本年7月に帰国予定。



主催：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学分野

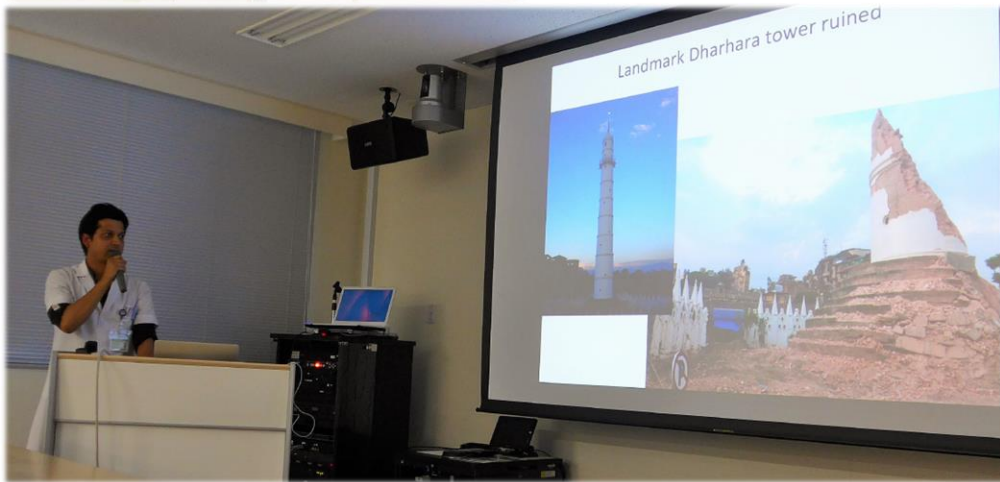
☎TEL:099-275-5375 E-mail:noge@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp

総勢40名の先生方、学生にご参加をいただきました。
多数のご参加をいただき、ありがとうございます。

ボハラ・マノズ先生より

「NEPAL EARTHQUAKE 2015」と題して講演をいただきました。

ボハラ マノズ先生は、本年5月5日-11日、
首都カトマンズのNeurofoundation Nepal等にて
負傷者の手術等ならびに救援金・救援物資の授与を行いました。



有田和徳教授より「2nd relief team to Nepal, 2015.5.31-6.5」と題して講演いただきました。

有田和徳教授は、ネパール国における脳神経外科医療の立ち上げを長らく支援しており、本年6月1日-6月5日、派遣チームを結成し、カトマンズ市内あるいは郊外の病院において、救援金・救援物資の授与、医療状況の視察、手術指導、医療コンサルテーション、医療サービスの再建に関するディスカッション、シェルター建設を行いました。

